

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年7月15日(2022.7.15)

【公開番号】特開2020-173419(P2020-173419A)

【公開日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2020-043

【出願番号】特願2019-143864(P2019-143864)

【国際特許分類】

G 03 G 9/087(2006.01)

10

G 03 G 9/097(2006.01)

G 03 G 9/08(2006.01)

C 08 G 63/91(2006.01)

G 03 G 9/09(2006.01)

【F I】

G 03 G 9/087 3 3 1

G 03 G 9/097 3 6 5

G 03 G 9/087 3 2 5

G 03 G 9/08 3 8 4

C 08 G 63/91

20

G 03 G 9/09

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月7日(2022.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項1】

酸基を有する非晶性ポリエステル系樹脂(A)とアミン化合物との反応物を含む樹脂組成物(A-P)であって、

前記非晶性ポリエステル系樹脂(A)が、ビスフェノールAのアルキレンオキシド付加物を含むアルコール成分、カルボン酸成分、及び水酸基及びカルボキシ基から選ばれる少なくとも1つの官能基を有する炭化水素ワックスとの重縮合物である、樹脂組成物。

【請求項2】

着色剤と、スチレン系化合物を含む重合性単量体の付加重合体と、樹脂組成物(A-P)と、を含有する、静電荷像現像用トナーであって、

前記樹脂組成物(A-P)が、酸基を有する非晶性ポリエステル系樹脂(A)とアミン化合物との反応物を含む樹脂組成物であり、

前記非晶性ポリエステル系樹脂(A)が、ビスフェノールAのアルキレンオキシド付加物を含むアルコール成分、カルボン酸成分、及び水酸基及びカルボキシ基から選ばれる少なくとも1つの官能基を有する炭化水素ワックスとの重縮合物である、静電荷像現像用トナー。

【請求項3】

前記樹脂組成物(A-P)の含有率が、前記付加重合体100質量部に対して、1質量部以上40質量部以下である、請求項2に記載の静電荷像現像用トナー。

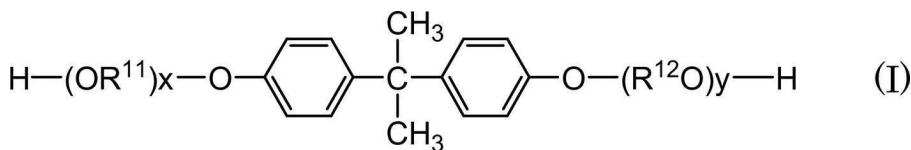
【請求項4】

40

50

前記ビスフェノールAのアルキレンオキシド付加物が、下記式(I)で表される化合物である、請求項2又は3に記載の静電荷像現像用トナー。

【化1】



[式中、OR¹¹及びR¹²Oは、アルキレンオキシ基であり、R¹¹及びR¹²はそれぞれ独立にエチレン基又はプロピレン基であり、x及びyはアルキレンオキシドの平均付加モル数を示し、それぞれ正の数であり、xとyの和の値は、1以上16以下である。] 10

【請求項5】

前記アミン化合物が、炭素数2以上5以下のアルキレン基を有するポリアルキレンイミンである、請求項2～4のいずれかに記載の静電荷像現像用トナー。

【請求項6】

着色剤誘導体を更に含有する、請求項2～5のいずれかに記載の静電荷像現像用トナー。

【請求項7】

前記着色剤誘導体が、銅フタロシアニン誘導体である、請求項6に記載の静電荷像現像用トナー。

【請求項8】

工程1：着色剤と、樹脂組成物(A-P)と、スチレン系化合物を含む重合性单量体とを含む重合性单量体組成物を水系媒体中に分散する工程、及び

工程2：前記重合性单量体組成物を水系媒体中で懸濁重合する工程、を含み、

前記樹脂組成物(A-P)が、酸基を有する非晶性ポリエステル系樹脂(A)とアミン化合物とを縮合させて得られる樹脂組成物であり、

前記非晶性ポリエステル系樹脂(A)が、ビスフェノールAのアルキレンオキシド付加物を含むアルコール成分、カルボン酸成分、及び水酸基及びカルボキシ基から選ばれる少なくとも1つの官能基を有する炭化水素ワックスとの重縮合物である、静電荷像現像用トナーの製造方法。 20

30

20

30

40

50